

令和7年度
校長だより

あかつき 3月号



～ あかつき山の麓から感謝を込めて ～



丹波市立新井小学校 校長 荻野由香里

三寒四温の言葉通り、寒い日と暖かい日を繰り返しながら、春の訪れが近づくを感じる時期となりました。地域の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、今年度もあと少しとなりました。今月23日には卒業式、24日には修了式を行います。また、11日には5年生が中心となり企画した「6年生を送る会」を行いました。きょうだい班での異学年交流が充実している新井小学校は、全校生が6年生を慕っており、さまざまな場面で頼りにしています。その6年生への感謝とお祝いの気持ちが溢れる温かい会となりました。

一年間の節目となる教育活動が進んでいます。子どもたちにとって、新しいステージへ向かう大切な時期だと感じています。一人ひとりが、来年度に希望をもって進めるよう、毎日を大切に今年度を締めくくりたいと思っています。

令和7年度学校評価について

本年度の教育目標は、『ふるさとが好き、学校が好き、自分が好きになる新井っ子の育成～合言葉は、「未来を創る にこ・はき・どん」～』でした。その実現のために、以下の3点について重点的に取り組みました。

- (1) 地域住民との連携
- (2) 指導方法の工夫改善
- (3) 家庭・地域と連携した食育の実践



一年間の取組を教職員でふり返り、先日の学校運営協議会で取組内容を説明しました。主な取組内容について報告するとともに、委員の皆様よりいただいた意見と来年度の方向性についてお伝えします。

1 今年度の取組について

(1) 地域住民との連携

- ・「学校図書館プロジェクト」で、6年生を中心に子どもたちが意見をまとめ、地域住民を含むプロジェクトメンバーと意見交流しながら、図書室のリニューアルオープンを実現することができた。



▲学校図書館プロジェクト会議

- ・「こんな学校にしたいなプロジェクト」で、5年生と地域住民が、共によりよい学校を創っていく当事者として意見交流することができた。
- ・「新井塾（ふるさと学習）」をはじめ、地域のゲストティーチャーと学ぶことで、ふるさとのよさを再発見することができた。



▲「新井塾」発表会

(2) 指導方法の工夫改善

- ・めあてをもち、集中して学習できている児童の割合は高い。引き続き、学ぶ喜びや挑戦の楽しさが感じられる授業づくりに取り組む。
- ・児童の学びに合わせてICTを活用しているが、効果的に活用できていないと感じている児童もいる。さらに効果的な活用方法を工夫する。
- ・自己選択、自己決定する場を意識的に設定し、個に応じた多様な学びを充実させる。一方、基盤となる基礎学力や学びに向かう姿勢を育てる取組を充実させる。

(3) 家庭・地域と連携した食育の実践

- ・従来の食育カリキュラムを見直し、さまざまな教科で食育の実践ができた。
- ・兵庫県が推奨する「ちょこっと食育」も含め、食育の視点をもった授業実践に取り組むことができた。
- ・家庭や地域に学校の取組を発信し、連携しながら児童にとって望ましい食習慣の形成を図ることができた。



▲いずみ会さんとの調理実習

2 学校運営協議会での意見

※体験や人との関わりを大切にする魅力ある授業づくりをめざしてほしい。また、リニューアルした図書室で充実した読書活動ができるように進めてほしい。

※スマートフォン等の使用状況はどうか。使用時間が長くなると弊害もあると考える。使用時間や使用アプリ等についても、家庭と連携して考えていくことが大切である。

※今後、ますます情報化社会が進んでいく。ネットの使用等も含め、情報をよりよく活用する力が必要になる。人権教育を基盤とした情報モラルの育成等、情報活用能力の育成を充実させてほしい。

3 来年度の方向性について

学校運営協議会でいただいた意見や教職員で協議した一年間の教育反省をもとに、来年度の方向性を考えています。今年度の児童の様子をふり返り、来年度は「自己選択・自己決定する力」「相手意識をもって表現する力」「チャレンジを楽しみ、ねばり強く自立・自走する力」を育みたいと考えています。地域や保護者の方々と連携した取組ができるよう熟考し、4月に具体的な方針をお知らせさせていただきます。

一年間、学校教育活動にご理解とご支援をいただき、本当にありがとうございました。新井地区の皆様の温かさに支えていただきました。教職員一同、大変感謝しております。来年度も変わらぬご支援をよろしく願いいたします。